

# 家族関係支出の拡充の考え方

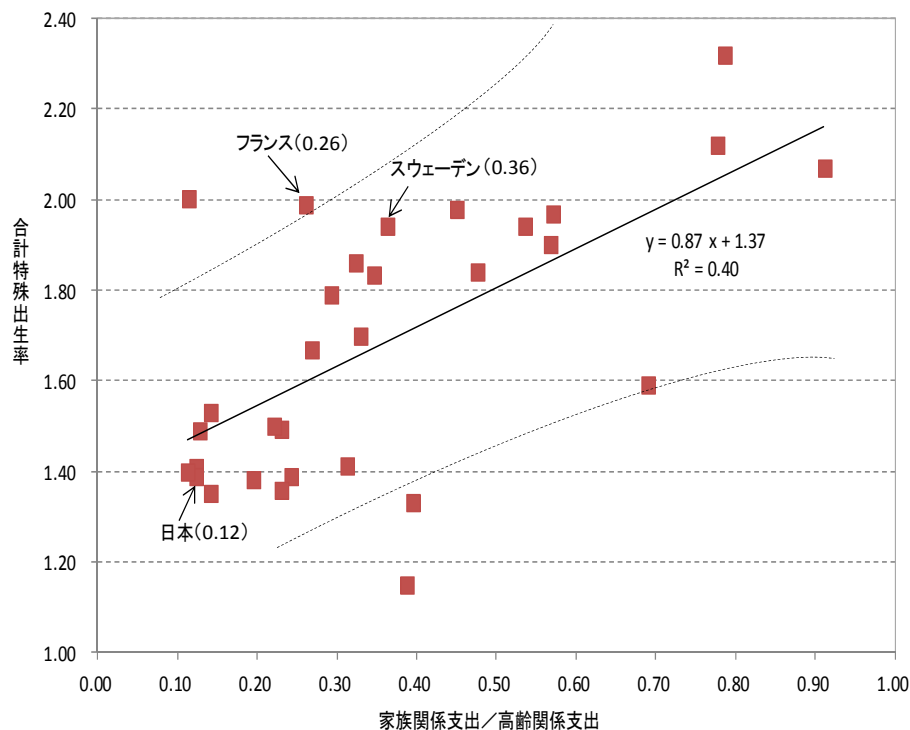
平成26年10月28日

内閣府

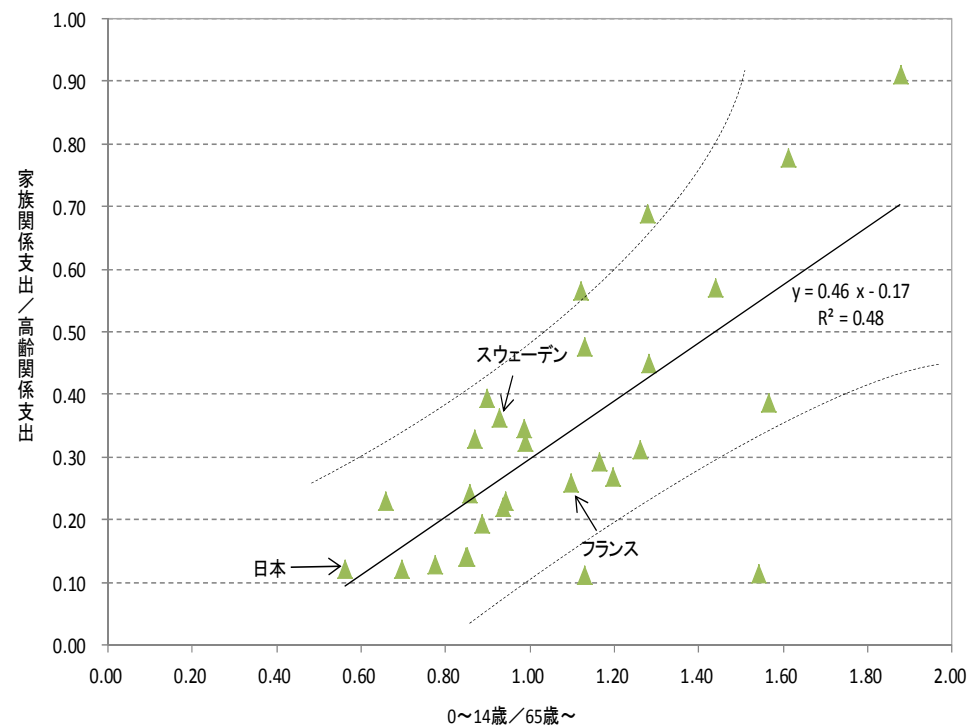
# 1. 諸外国の家族関係政府支出・高齢関係政府支出と合計特殊出生率の関係

- 高齢関係政府支出に対して家族関係政府支出の比重が高いほど、合計特殊出生率が高いという緩やかな正の相関関係が成り立つ。
- 家族関係支出／高齢関係支出は、直近では、日本:0.12、フランス:0.26、スウェーデン:0.36となっている。
- 年少人口比率と家族関係支出の間にも緩やかな正の相関関係が成り立つ。日本は年少人口比率も家族関係支出率も最低水準。

家族関係支出／高齢関係支出と  
合計特殊出生率の相関関係



年少人口／高齢人口と  
家族関係支出／高齢関係支出の相関関係

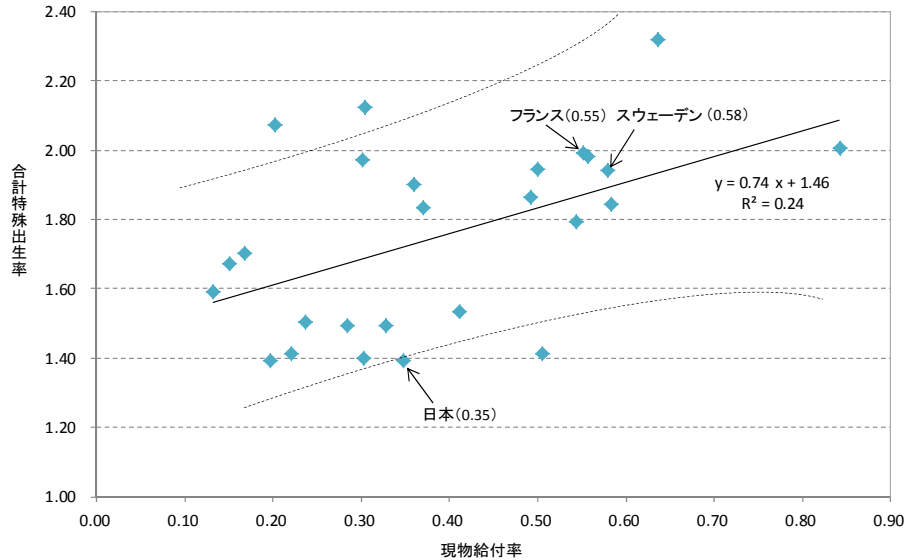


(備考) 1. OECD "Social Expenditure" "Family database" "Population statistics"、国立社会保障・人口問題研究所「平成23年度社会保障費用統計」、総務省「人口推計」をもとに作成。  
2. 2009年の値。日本は2011年度、スイスは2008年の値。

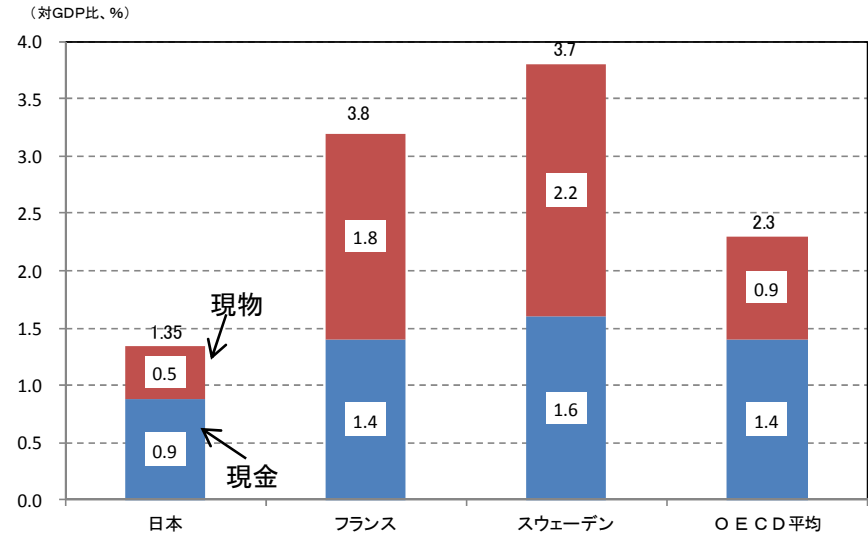
## 2. 諸外国の家族関係政府支出(現物給付)と合計特殊出生率の関係

- 日本より合計特殊出生率が高い諸外国を見ると、家族関係政府支出のうち現物給付の比率が高まると、合計特殊出生率は高くなる傾向が見られる。
- 現物給付率は、直近では、日本:35%、フランス:55%、スウェーデン:58%となっている。

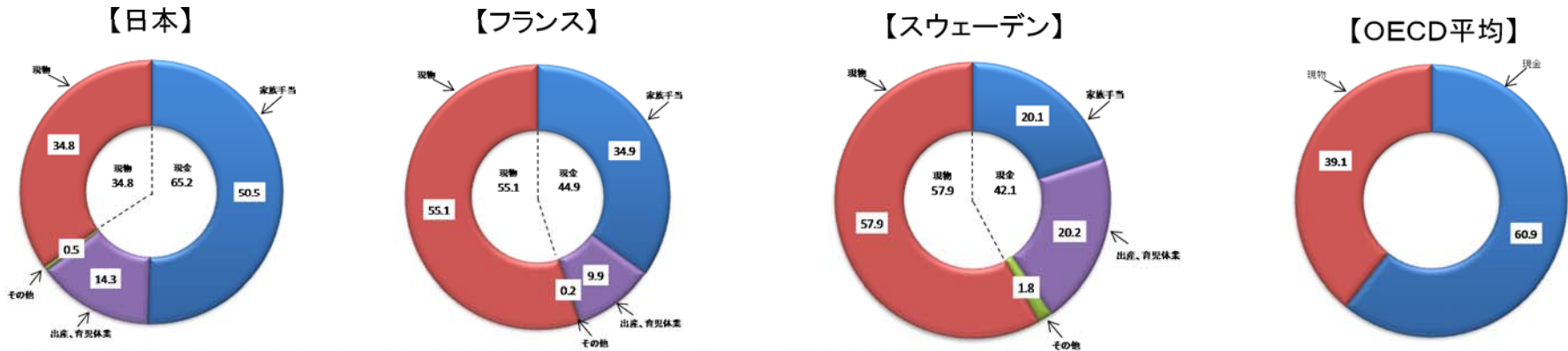
家族関係支出の現物給付率と合計特殊出生率の相関関係



家族関係支出(現物給付・現金給付)対GDP比



家族関係支出(現物給付・現金給付)の構成割合(%)



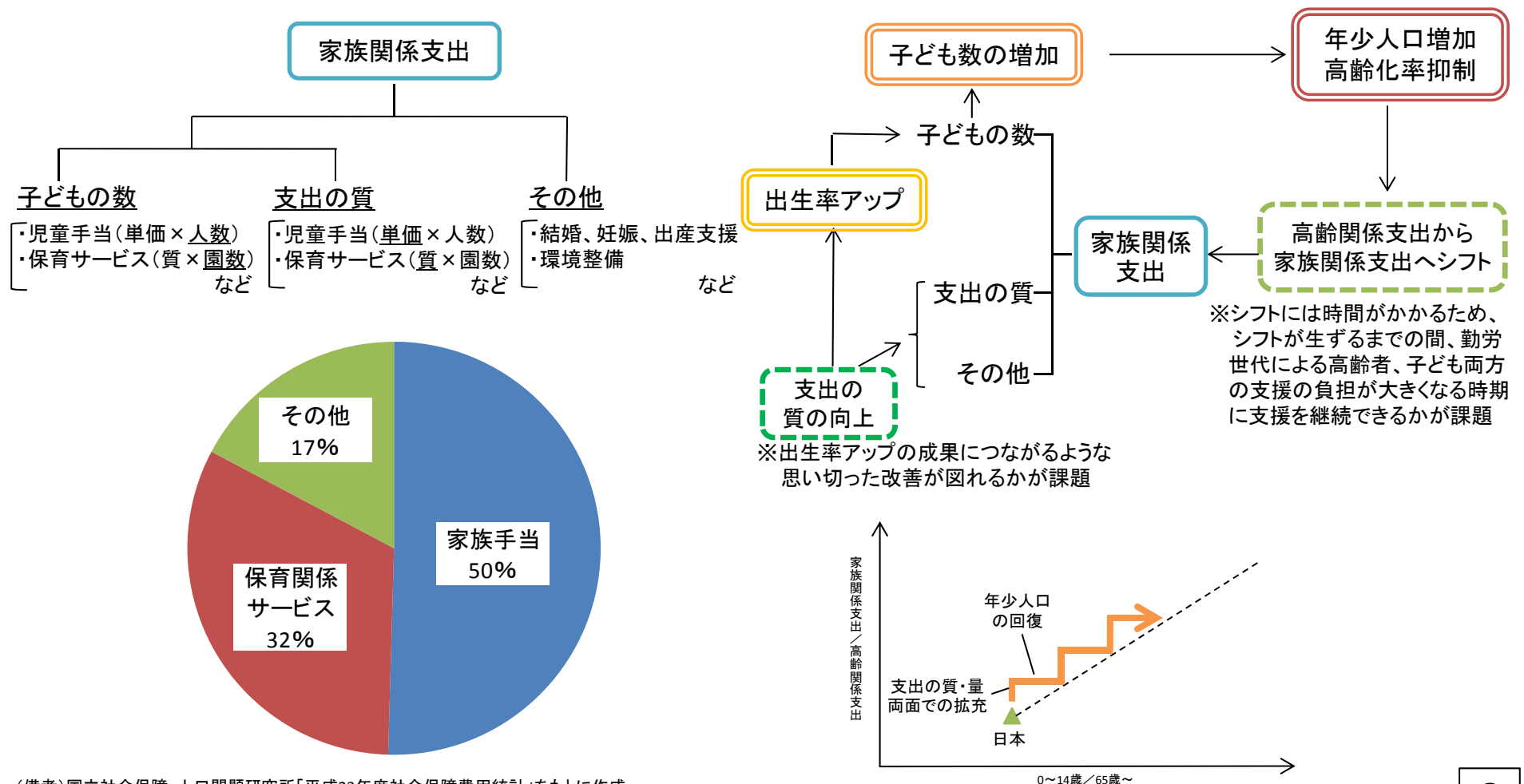
(備考) 1. OECD "Social Expenditure" "Family database"、国立社会保障・人口問題研究所「平成23年度社会保障費用統計」をもとに作成。

2. 2009年の値。日本は2011年度、スイスは2008年の値。

3. 現物給付率は、家族関係政府支出(現金給付と現物給付の合計)のうち現物給付が占める割合。

### 3. 家族関係政府支出の拡充の考え方の整理

- 家族関係支出を拡充し、年少人口比率の上昇(高齢化率の低下)を通じて、高齢関係支出から家族関係支出へのシフトを、段階的に実現させるサイクルを回していくことができれば、好循環が成り立つ可能性。
- 現在の日本の家族関係支出は、現金給付率が高く、質の改善を図る余地がまだ大きい。成果に結び付くような支出の質の改善を図りながら、支出の質・量両面で拡充を段階的に進めることによって、上記のようなサイクルを回していくことが考えられる。



(備考) 国立社会保障・人口問題研究所「平成23年度社会保障費用統計」をもとに作成。

## (粗い試算) 家族関係政府支出の拡充の規模感

- 家族関係支出の質の改善を図る観点から、当面、現物給付比率をフランス、スウェーデン並みに引き上げるとすると、現在の支出を約1.4～1.6倍に増やす必要

◎ 日本の家族関係支出の現物給付率(0.35)を、フランス(0.55)・スウェーデン(0.58)並みに引き上げると…

⇒ 家族関係支出は、9.3～9.9兆円(2011年度の家族関係支出は6.4兆円で、その1.4～1.6倍)

(※現金給付は一定として試算)

- 家族関係支出について、合計特殊出生率の高いフランス、スウェーデン並みに家族関係支出と高齢関係支出の比率を引き上げるとすると、現在の支出を約2.1～2.9倍に増やす必要

◎ 日本の家族関係支出と高齢関係支出の比率(0.12)を、フランス(0.26)・スウェーデン(0.36)並みに引き上げると…

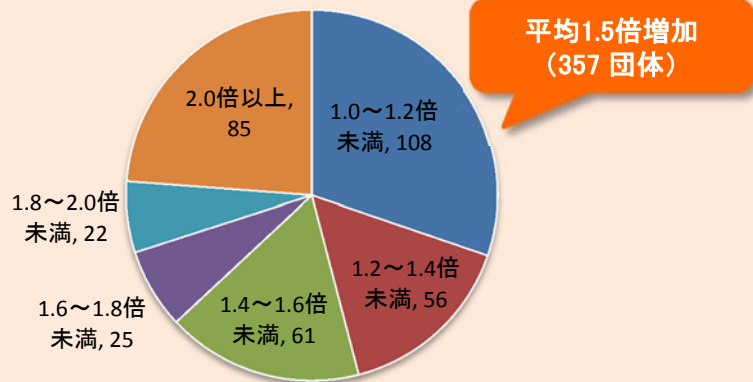
⇒ 家族関係支出は、13.6～18.8兆円(2011年度の家族関係支出は6.4兆円で、その2.1～2.9倍)

(※高齢関係支出は一定として試算)

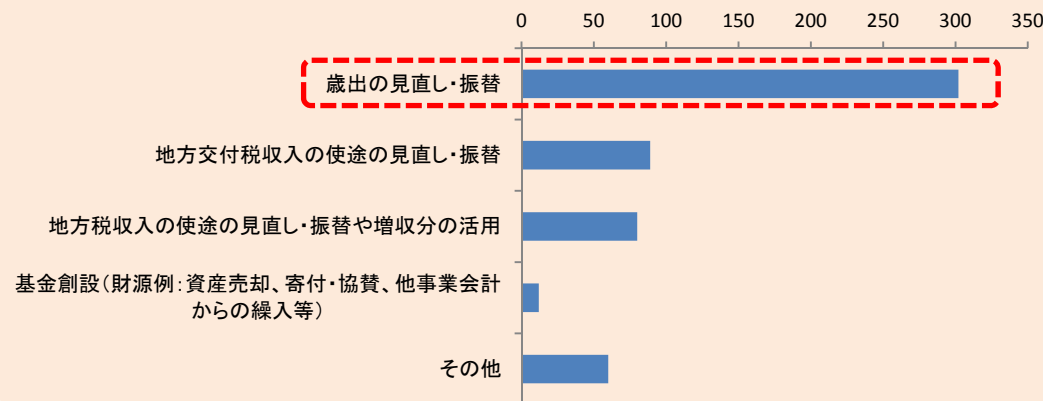
## 4. 地方公共団体における少子化対策関連予算の拡充(暫定集計)

- 少子化対策関連予算について、過去10年の間に増加傾向または若干増加傾向と回答した地方公共団体は、同予算を過去10年の間に平均1.5倍増加させている。
- 増加分の財源は、歳出の見直し・振替を行うことで確保している団体が多い。
- 増加分の少子化対策関連予算は、子ども医療費の無償化へ支出している団体が多い。

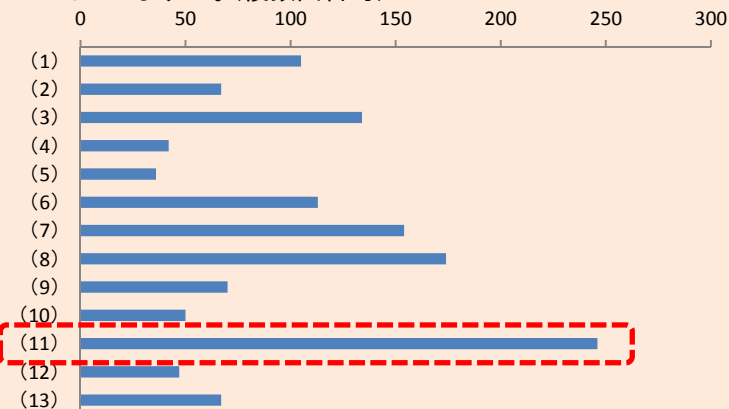
◆ 貴団体の少子化対策関連予算は、過去10年の間にどの程度増加しましたか。(1つのみ回答可)



◆ 増加した少子化対策関連予算の財源は、どのように確保しましたか。(複数回答可)



◆ 増加した少子化対策関連予算は、主にどのような施策に支出していますか。(複数回答可)



- (1) 出会いの機会の提供や相談・支援体制の整備(多様なイベントの実施、結婚支援センターの運営等)
- (2) 結婚する若者や子育て世帯向け住宅の供給促進
- (3) 不妊に関する総合的な支援(不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成拡充、男女ともに受診しやすい相談・支援体制の整備、男性の不妊治療への支援、不育症への支援等)
- (4) 安全・安心な周産期医療体制の充実(医師確保対策の強化等)
- (5) 妊娠・出産に関する医学的な情報提供の推進(ライフプラン形成の促進)
- (6) 待機児童の解消(認定こども園、幼稚園、保育所への施設型給付の拡充)
- (7) 子育て支援のメニュー拡張(小規模保育への支援等)
- (8) 保育サービスの充実(保育士の処遇改善・人材確保対策等)
- (9) 社会的養護の必要な子どもの支援体制の拡充
- (10) 産後ケア体制の整備
- (11) 子ども医療費の無償化
- (12) 第2子以降の保育料の無償化
- (13) その他